

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース  
 パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校

## 2013 年度国際建築・都市設計ワークショップ 「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」



名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース (GSES-NU) では、2013 年 4 月 29 日(月)から 5 月 3 日(金)までの 5 日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館 1 階レクチャーホールを主会場として、フランスのパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校 (ENSA-PVS) と合同で、「都市の活性化と減災に向けた駅を中心とする市街地の再整備」について調査・提案する建築・都市設計ワークショップを開催しました。ENSA-PVS の大学院生 13 名 (うち 2 名は NUPACE 留学生として名古屋大学に在籍中) 及び名古屋大学建築学コースの大学院生・研究生 17 名が参加しました。ワークショップの指導は、Boris Weliachew 教授、小松尚准教授、村山顕人准教授と 4 名のティーチングアシスタントが行いました。

参加者は、5 つの国際グループに分かれ、それぞれ池下駅、本山駅、東山公園駅、星ヶ丘駅、藤が丘駅を中心とする市街地を対象に調査・提案しました。1 日目は全員自己紹介と名古屋の都市形成と都市計画・まちづくりに関する講義、現地見学、ウェルカムパーティー、2 日目以降はグループ毎の作業で、2 日目には地域防災ホールの見学、3 日目には中間発表会、5 日目の夕方には成果発表会と送別会を行いました。成果発表会では、各グループの調査・提案が図面 (A1 版 4 枚) と模型によって披露されました。どの提案も今後の都市デザインの参考になる刺激的な内容で、名古屋大学の教員と学生だけではなく、名古屋市や名古屋都市センターの行政関係者も来場し、活発な意見交換が行われました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。

## IKESHITA

URBANISTIC WORK AROUND THE STATION



PROGRAMME



SITUATION MAP



REDUCE AND RETHINK THE TRAFFIC AROUND THE STATION

PROPOSAL

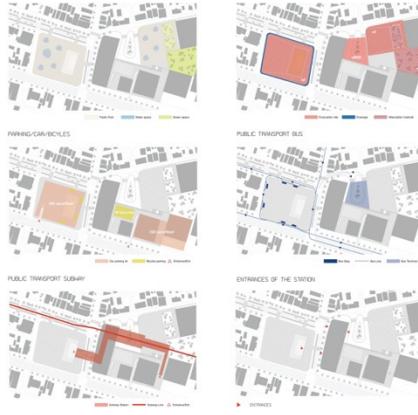
## IKESHITA

URBANISTIC WORK AROUND THE STATION



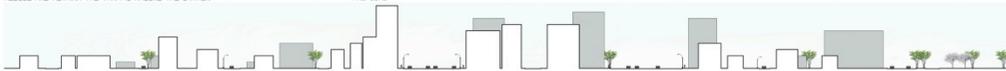
OPEN SPACE DRINKUP

OPEN SPACES EMERGENCY



PROPOSAL

PROPOSAL



### ■概要

池下駅は名古屋市の中心部を東西に貫く錦通と広小路通り二本の幹線道路が一本に集まる端末に位置してある。駅前の二本の幹線道路に挟まれたエリアは、周辺から孤立し、ひと通りが少ない。そこで、そのエリアに商業や緑、オープンスペースを持ち込み、南と北の住民を繋げる島を作ることを提案する。駅前ワンブロックは駅前広場としてオープンスペースとし、老朽化していた既設のバス停を移設する。錦通に面している古い駅ビルは、とても重要なシンボル性があると考えられ、新しいガラスのファサードを作り、広場の続きとしてファサードの裏側にも緑が豊かなオープンスペースを作る。駅前広場は都市の庭とみなされ、駅ビルのオープンスペースは住民たちの庭とみなされる。

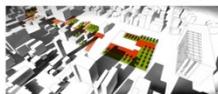
### ■メンバー

#### ENSA-PVS

- Paul Deniau
- Yann-kevin Creff

#### GSSES-NU

- Ann Lee
- Hidenori Sakai
- Ye Li
- Yi Chang



Around MOTOYAMA station project

**SITE ANALYSIS**

**[ 5 corners ]**  
Big intersection has different character corners. There's no unity.

**PROJECT CONCEPT**

**[ SAKURAZAWA street ]**  
In the springtime, cherry blossoms in full bloom in the YAMAZAKI street. But we have no place to place cherry trees, and paving the SAKURAZAWA beside the street.

**[ HIROYOSHI street ]**  
This street is main street in MOTYAMA. But very noisy, we have to block the noise.

**[ On-street parking ]**  
A lot of bicycles and cars on the sidewalk on road.

**[ Old buildings / vacant space ]**  
This corner is old buildings and vacant space.

**[ New buildings / vacant space ]**  
This corner is buildings in the "main building" of the station. But this building is improper and too old.

**GREEN BELT** connect HIROYAMA park and education & park area.

Green expanded to the vacant space near the MOTOYAMA station.

Green expanded to move large areas from many other parks.



■概要

4つの異なる性格を持つ通りが交わる本山駅周辺は、交差点に統一感が無く、アイスポットとなる建物の老朽化が深刻です。そこで平和公園から緑を引き延ばし長大なグリーンベルトとし、そこから緑が本山駅周辺に拡大されていく事により周囲の建物に統一感を持たせました。また駅周辺では、台風や大雨が発生すると周辺から水が流れ込み洪水が発生します。普段は親水公園として機能している川沿いのグリーンベルトに溢れた水を流す事によって洪水を緩和し、災害時には避難場所として機能する仕組みも提案します。周囲の民家や商店を取り込みながら駅周辺の空き地に拡大していく緑は、いずれ様々なポイントから拡大していき、防災・コミュニケーションの拠点とります。

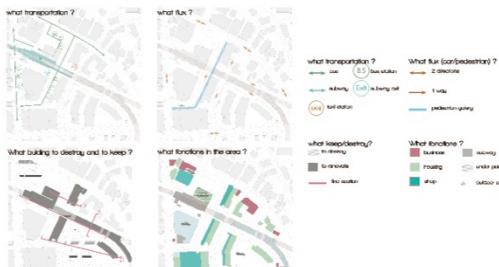
■メンバー

- ENSA-PVS**
- Florence TIMSIT
  - Morgane GIRARD
- GSES-NU**
- Fangyuan TAO
  - Misato SHIBATA
  - Kazuki HASHIMOTO
  - Yajing LI

WORKSHOP 2013 // FUJIGAOKA//ACTUAL



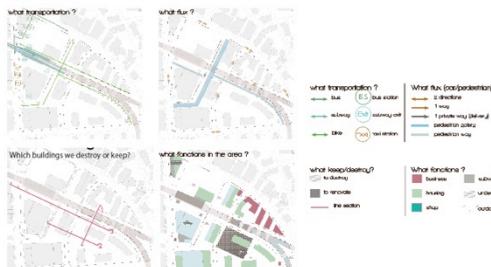
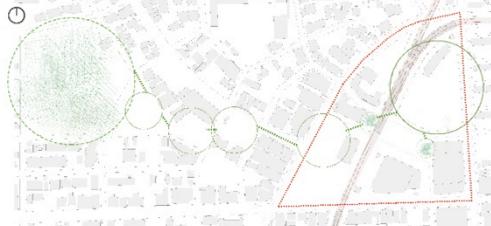
where the place for green park exist?



WORKSHOP 2013 // FUJIGAOKA//FUTUR



where the place for green park for project?



■概要

藤が丘駅を囲うように、URの古い集合住宅が商店街を構成している。商店街の北側にもURの集合住宅街区があり、商店街のポケットパークからは1階商店の様子が見える。また、藤が丘駅の西には緑豊かな明が丘公園がある。そこで、URの集合住宅街区内にある公園と、明が丘公園を視覚的につなげていく計画を行った。ワークショップでは、この緑のプロムナードの中心となるバスターミナルと、始点であるUR集合住宅街区を設計した。

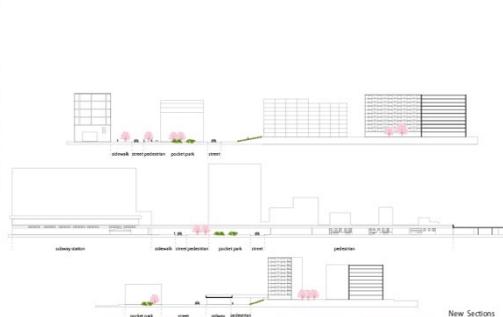
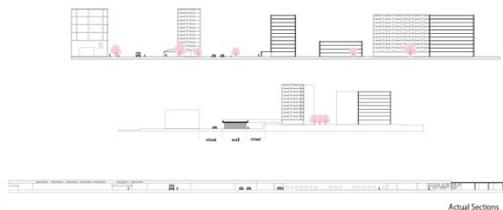
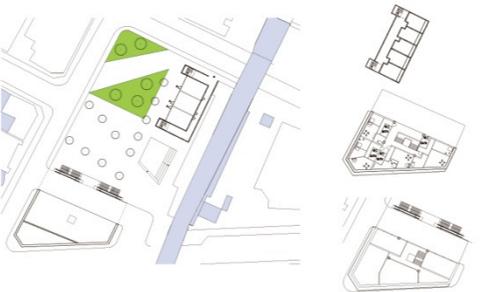
従来のループ式のバスターミナルをつくり変え、大きなプラザを設けた。ここは災害時の避難場所としても活用できる。さらに、商店街前の道路幅を狭くし、商店の賑わいが表出しやすくなっている。

UR集合住宅街区は、静かな住居空間とするため、商店は要れずに、プラザからの視線が通るように配置をし直している。

また、バルコニーを持たない古いUR住宅にはダブルスキンでバルコニーを付加する形でリノベーションしている。

WORKSHOP 2013 // FUJIGAOKA//PROJECT

master plan of the project?



■メンバー

ENSA-PVS

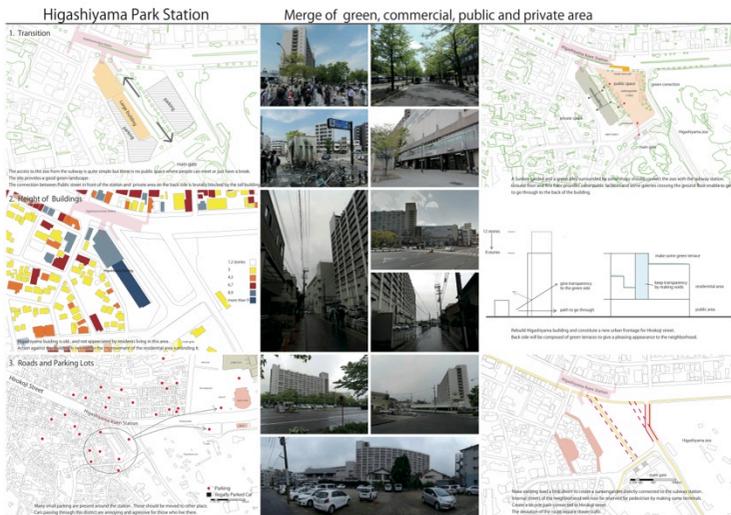
- Clara CHALCO
- Juliette BIZE

GSES-NU/ ENSA-PVS

- Thibaud SECHET

GSES-NU

- Yuriko HIKOSAKA
- Shogo SHIBATA
- Xue LIU



Rebuild Higashiyama Park Building



**■概要**

広小路通沿いのアイストップとなっている東山ビルを中心に駅と動物園のゲートを結ぶエリアを対象とした。老朽化している東山ビルの高さが周囲と比較して極端に高く西側の低層住宅を圧迫していること、駐車場や路上駐車が場所を占めており快適な歩行者空間でないことが問題だと考えた。そこで、現在駐車場になっているロータリーの中心部を駅に直結するサンクンガーデンとする。緑が豊かな路地はそのまま残し、歩行者専用の空間として利用する。東山ビルは減築し、西側を緑のテラスとし、裏から表へ抜け道や視線の抜けを作ることで背後の住環境に配慮すると同時に、広小路通りのための新しいファサードをつくる。

**■メンバー**

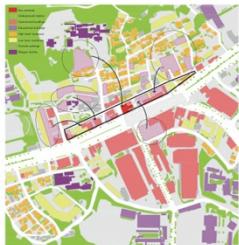
- ENSA-PVS**
- Abdellah BOUCHAFAA
  - Anouar AKROUH
- GSER-NU**
- Hiroki MATSUNAGA
  - Jianqiao WU
  - Yanjie LI
  - Yusuke NAKAMURA

HOSHIGAOKA STATION  
Workshop Paris-Nagoya



ANALYSE

BUILDING TYPES



DENSITY



FLows



Views



VEGETATION



MITIGATION



REFERENCES



■概要

名古屋地下鉄東山線の星ヶ丘駅を中心に駅そば生活圏を構想する課題に対して、まず星ヶ丘テラスを町並みの重要な景観ポイントとしてとらえ、南北軸に展開されている歩行者空間を東山線に沿った東西軸にも拡大していくことがコンセプトである。そのため最初に地下鉄とバスターミナル、駐車場などの交通動線の問題を解決するため、東西に長いテラスを設ける。テラスの下はバスターミナルやバスの駐車場を、敷地南面に広がる住宅地の駐車場を一元化するため、乗用車の駐車場を収容する計画である。テラスの上部には基本的に緑とオープンスペースを作り、駅周辺の大学生と高校生など、多くの若者を迎え入れる施設とともに設ける。その上層には駅やバスと直結するような住居空間を提案し、駅などの交通施設と連携しながら、町並みの景観を考慮すると同時に、災害に対してもテラスが避難場所や帰宅難民の待機場所となる。

MASTERPLAN 1:1000

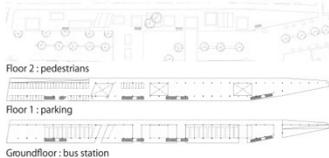


PLATFORM PROJECT

SECTION A 1:1000



PLANS 1:1000



Floor 2: pedestrians

Floor 1: parking

Groundfloor: bus station

SECTION B 1:1000



PROGRAM

OPEN SPACES ——— 10,000 m<sup>2</sup>  
gardens: 6,500 m<sup>2</sup> mineral spaces: 3,500 m<sup>2</sup>

PLATFORM ——— 20,000 m<sup>2</sup>

Library Concert Hall restaurant shops «MJC» Student housing

RE-DENSIFICATION ——— 80,000 m<sup>2</sup>

Restaurants bars shops karaoke dancing Hall music school dancing school

Student housing housing

■メンバー

ENSA-PVS

- Laila ATIE
- Lubna PEGARD
- Melanie OLLAGNIER

GSES-NU/ ENSA-PVS

- Arthur LEBLAIS

GSES-NU

- Xun CHEN
- Zenya YAMASHITA

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース  
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校  
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 40 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12 名、GSES-NU 大学院生 36 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、米国カンザス大学大学院生 10 名、GSES-NU 大学院生 5 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9 名、テルアビブ大学学生 9 名、GSES-NU 大学院生 27 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18 名、GSES-NU 大学院生 4 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13 名、GSES-NU 大学院生 17 名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130429/index.html>>

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。